

マイクの音響分析報告書

2019年5月29日

(有)トライデントミュージックステーション

代表取締役 岩田 光司



目次

- 1、調査目的
- 2、測定日時と環境
- 3、測定機器と測定条件
- 4、測定結果の概要と結論
- 5、時系列測定データ

1、調査目的

本調査は、マイクの音響の測定を行い、分析結果を報告するものである。
なお、本調査は株式会社セーヌラインのご依頼により、
(有)トライデントミュージックステーション(スタジオ内コントロールルーム、
ボーカルブース)によって行われている。

2、測定日時と環境

測定日時 2019年5月29日 15:30～18:30

測定環境

- ・測定場所 スタジオ内コントロールルーム、ボーカルブース
- ・測定対象外機器以外の電気製品は全て電源オフ(照明のみ点灯)

3、測定機器と測定条件

- ・プロ仕様の録音機器のハイサンプリングにて録音再生

4、測定結果の概要と結論

【 マイク機材の説明 】

マイクには大きく分けて2種類あります。

- ①ダイナミックマイク ⇒ カラオケBox、スナック、ロックの大音量の歌で使用など。
※ダイナミックマイクは安価なため利用頻度が高い。
- ②コンデンサーマイク ⇒ プロ仕様の録音スタジオ、放送局などのシビアな広い音域で繊細

【 調査方法 】

今回、スタジオでは世界的に使われているダイナミックマイク「シ●アーS●58」と「ノイ●ンU8●」を使いHETTARERを貼る前と貼ってからの2テイクを同一音源で高精度の録音機材で録音した。
(波形を大きくしたもの)

【 調査結果 】

測定時の画像で見られる様にHETTARER貼った後の画像が細くなります。

中音域から低音域にかけて倍音等が減って聴感上痩せて聴こえる、という状態です。モニタースピーカーは低域から広域まで非常にフラットな再生性能を持つ物を使用。

お店などの安価な周波数レンジの狭い物また正確に音場を再現されていないところではこの効果がいわゆる音ヌケが良く、スッキリ聴こえる、音の飛びが良い、という状態になる。

また、プロ仕様のスタジオでは電磁波(ノイズ)をカットする数百万の機械が備わっているが通常のカラオケBOXやスナックなどでは電磁波(ノイズ)をカットする設置がされていない為、より体感ができると思われる。

HETTARERの使用はマイクとスピーカーの両方に貼るとより効果が期待できる。















